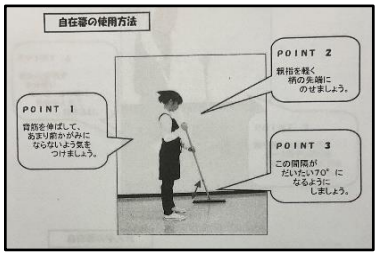
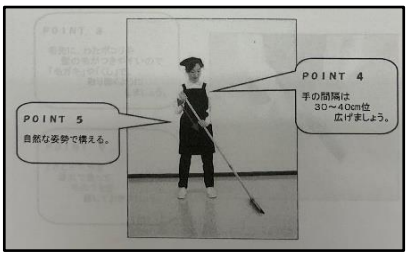
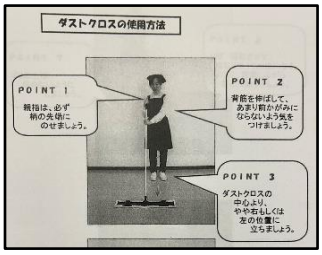
利用者の知識及び能力の向上に向けた取組の状況 報告書

知識及び能力の向上内容	清掃業務における必要な知識・能力向上について
訓練場所	福岡県筑紫野市大字永岡1021-2-201
実施日	令和5年4月27日
目的	一般就労へと繋がる清掃業務について、実際に清掃のプロの方を招き、「テナントの方への挨拶（対人スキル）」「道具の種類（知識向上）」「道具の使い方（能力向上」の習得・獲得を目指す。
参加者名	就労継続支援A型 ぐりーんぴーす　利用者 計 5名

【取り組みの様子】

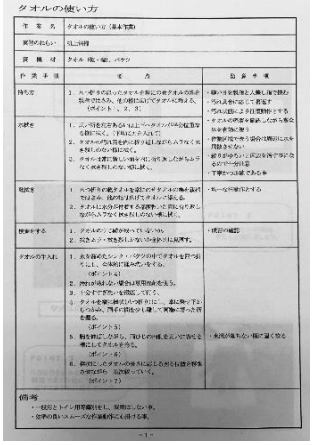






【訓練内容】

一般就労に向けた意欲の創出や利用者の能力向上を目的とし、座学では道具の使い方や清掃時におけるテナントの方・一般の方への挨拶及びコミュニケーションの能力・知識の向上を図る。実習では実際に道具を使い、基本動作・注意点を学び能力向上を目指す。


タオルの使い方

作業名	タオルの使い方（基本作業）	
実施おねらい	汚れ回収	
資機材	タオル（綿・麻）、バケツ	
作業手順	要点	自己チェック
持ち方	1. 八つ折りされたタオルを指に巻きタオルの表面を内側に出さない。（ポイント1、2、3） 2. 指先は、指先を伸ばしたり、ピンと伸ばしたりしないで、自然な状態で、タオルの表面を指の腹で触れる。（ポイント4）	・綿の方が吸水性と人肌に優しい感じ ・汚れ具合によって裏面を使う ・汚れ具合により回数を変える ・タオルの表面を傷つけないように、指先を伸ばすこと ・指腹は指先から指の第一関節までの部分 ・指先が伸びていると、汚れを拭き残しが出る ・丁寧さの証である事
当て方	1. 八つ折りの最も長い辺を、窓枠の下辺に沿って当てる。（ポイント5） 2. タオルは、力を入れずに、自然な状態で、タオルの表面を窓枠に当てる。 3. タオルは、力を入れずに、自然な状態で、タオルの表面を窓枠に当てる。	・同一の方向に拭かない
拭き取る	1. タオルのずれに気を付けているか。 2. 汚れを拭き取ったあとは、汚れが残っていないか確認する。	・視線の確認
タオルの汚れは	1. 洗面台のシンク、バケツの中で、タオルを洗う。そして、水を絞り取る。（ポイント6） 2. 洗面台の場合、蛇口を開放して、洗う。 3. 「タオルを窓に押さないで、軽く当てて、窓に沿って下にもっていく。」ポイントを意識しながら、実際に窓ふきを行う。（ポイント5） 5. 絞り終わったタオルを、汚れ具合の様子を見ながら、裏面にしてタオルをたたむ。（ポイント6） 6. 裏面にしたタオルの汚れ具合を見ながら、窓枠を拭き取り作業を行う。（ポイント7）	・使用が終わった後に、洗濯する
備考	・使用とトイレ用等の使用は、使用しない事。 ・使用の際は、スムーズな動作に心掛ける事。	

●座学・実習

一:挨拶（明るく積極的に挨拶を意識する）
二:道具の使い方（タオル：一般用とトイレ用等を識別）
三:道具の使い方（自在箒：姿勢が大事、疲労減）
四:道具の使い方（ダストクロス：片手操作はせず、ｽﾑｰｽﾞな動作で）
五:身だしなみ（清潔感ある装いを心掛ける）

●対人に必要なスキル

・コミュニケーション力がある
・気配り上手
・他人と協力することが得意
・笑顔で人と接することができる
・臨機応変な対応ができる

現状行っている清掃の仕方（特に姿勢）を改める良い機会になったと参加利用者から声が上がった。姿勢一つで、疲れ具合や効率が変わる為、熱心に傾聴されていた。

【今後の課題】

●挨拶
清掃に集中してしまい、テナントの方や一般の方に気付かず挨拶が遅れてしまう事がある為、周囲を確認し落ち着いて作業に取り組める様、引き続き声掛けなど丁寧に支援していく。

●道具の使用法
清掃道具を使用する際、基本姿勢・基本動作は理解できたが、各々体型が違う為サイズ変更可能な道具以外は、その都度持つ位置などを工夫する必要があると感じた。

●身だしなみ(清潔感)
人から見られていると強く意識し、一人でもだらしない方がいない様、全員でチェックする必要があると感じた。委託して下さった企業様にも迷惑が掛かる為、日頃から意識付けができる様助言していく。